

# 道徳学習指導案

日 時 平成21年6月5日（金） 第2校時  
対 象 3年5組（男子19名・女子20名）計39名  
指導者 教 諭 山 下 健 浩

## 1 主題名 「きまりを守る」

### 2 主題設定の理由

わたしたちが生活している社会の中には、必ずきまりがある。このきまりを守ることによって、社会生活の秩序が保たれ、個人の自由が保障されているということを、わたしたちは理解しなければならない。

しかし、いくらこれらのことを理解していても、権利ばかりを主張して、自分に課せられた義務を果たさなければ社会生活を維持していくことは難しい。

そこで、社会生活を維持したり、よりよいものにしたりするためにも、一人一人が他人の権利を尊重し、自分の権利を正しく主張するとともに、社会のきまりを守るなどの義務を確実に果たそうとする態度を育成することがとても重要である。

中学生になると、社会の仕組みもある程度理解できるようになり、社会の中での人間としての生き方についての自覚も深まってくるので、きまりについての意義を一層理解することができるようになる。

しかし、自己主張や、社会や大人に対する反発も強くなり、きまりに拘束されたり、自由を失ったりすることを嫌い、自分が果たさなければならない義務を果たさなかったり、自己中心的な行動を取ってしまったりする生徒も見られる。

本学級の生徒は、明るく素直であり、一人一役活動などの生徒会活動や、遠足、設営コンクールなどの学校行事にも意欲的に取り組む。しかし、3年生になり、学校生活への「慣れ」が生じるため、少しの油断から、時間を守ることができなくなったり、場に応じた行動ができなくなったりするなど、きまりを守る意識が低くなることもある。

そこで、社会の一員として、きまりを守り、きまりについての意義を十分にわきまえた上で、社会の秩序と規律を自ら高めていくためには、自分の考えだけでなく、他者の意見も参考にしながら深く考えさせたいと考え、本主題を設定した。

指導に当たっては、生徒一人一人が資料を通して感じとった気持ちと、自分の気持ち向かい合わせ、自己を深く見つめ（自己内対話）させたい。さらに、グループや学級全体で本音で意見や考えを討論させたり、考えを整理させたりして、よりよい価値観や新しい価値観を見いださせていくことにより、道徳の時間が意義ある学習活動であることを感じさせるようにしたい。

### 3 学習指導要領との関連

本主題は学習指導要領の次の内容項目と関連が深い。

内容 4 主として集団や社会とのかかわりに関すること

- (1) 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。

#### 4 本校教育目標との関連

本主題は本校教育目標の次の「めざす生徒像」と特に関連が深い。

- ・ ゆたかな心をはぐくむ生徒
- ・ 自分のよさを発揮する生徒

#### 5 目標

きまりについての意義を理解し、きまりを守り、秩序と規律のあるよりよい社会をつくろうとする実践意欲を培う。

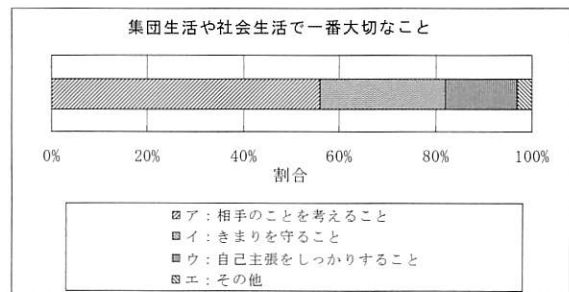
#### 6 生徒の実態

【アンケート結果】 実施日 平成21年4月28日（火）

対 象 鹿大附属中学校3年5組 男子19名・女子20名 計39名

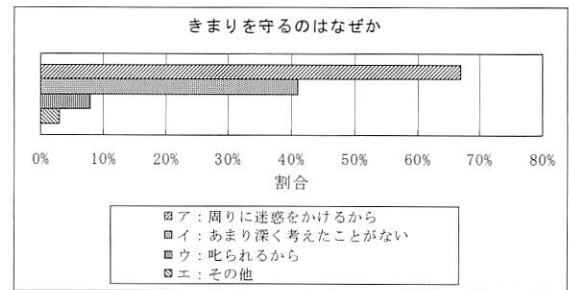
(1) 集団生活や社会生活で一番大切なことは何だと思いますか。一つ答えなさい。

ア. 相手のことを考えること……………22人(56%)
イ. きまりを守ること……………10人(26%)
ウ. 自己主張をしっかりとすること……6人(15%)
エ. その他……………1人(3%) (自分をコントロールすること)



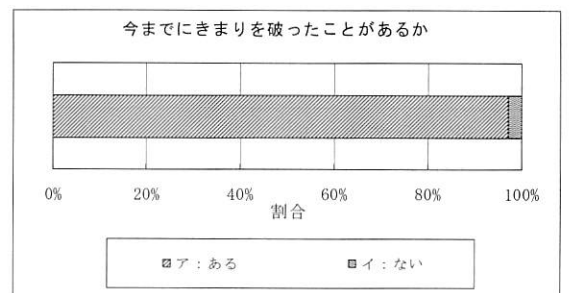
(2) きまりを守るのはなぜですか。(複数回答可)

ア. 周りに迷惑をかけるから……………26人(67%)
イ. あまり深く考えたことがないから…16人(41%)
ウ. 叱られるから……………3人(8%)
エ. その他……………1人(3%) (先生や大人がしつこく言うから)



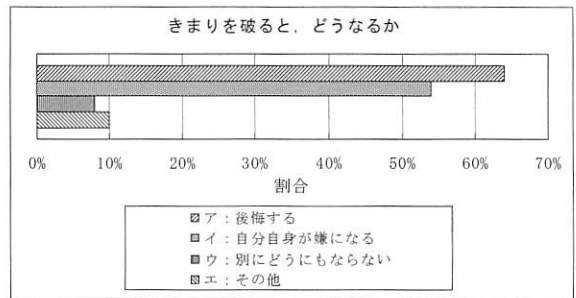
(3) 今までにきまりを破ったことがありますか。

ア. ある……………38人(97%)
イ. ない……………1人(3%)



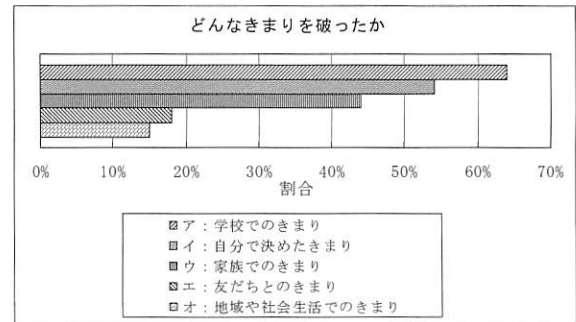
(4) きまりを破ると、どうなると思いますか。(複数回答可)

ア. 後悔する……………25人(64%)
イ. 自分自身が嫌になる……………21人(54%)
ウ. 別にどうもならない……………3人(8%)
エ. その他……………4人(10%) (その人の自由, 面倒なことになる)



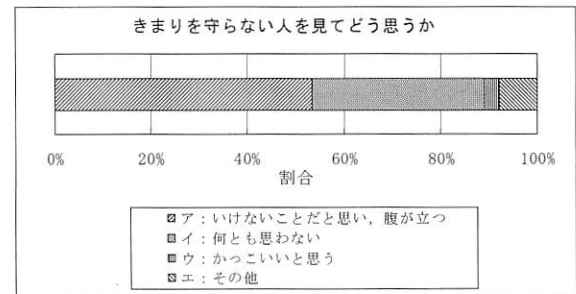
(5) どんなきまりを破ったことがありますか。(複数回答可)

ア. 学校でのきまり……………25人(64%)
イ. 自分で決めたきまり……………21人(54%)
ウ. 家族でのきまり……………17人(44%)
エ. 友達とのきまり……………7人(18%)
オ. 地域や社会生活でのきまり……………6人(15%)



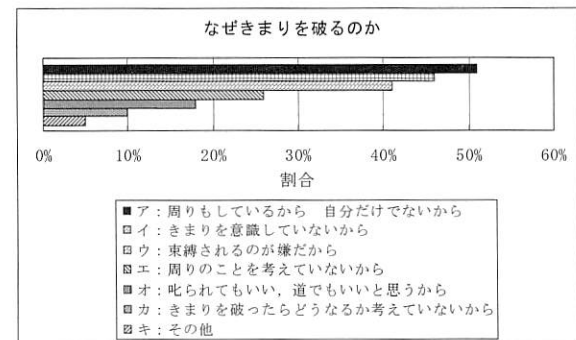
(6) あなたはきまりを守らない人を見てどう思いますか。

ア. 腹が立つ……………21人(54%)
イ. 何とも思わない……………14人(36%)
ウ. カッコいいと思う……………1人(3%)
エ. その他……………3人(7%) (うらやましい)



(7) なぜ、きまりを破ると思いますか。(複数回答可)

ア. 周りもしているから, 自分だけでないから……………20人(51%)
イ. きまりを意識していないから……………18人(46%)
ウ. 束縛されるのが嫌だから……………16人(41%)
エ. 周りのことを考えていないから……………10人(26%)
オ. 叱られてもいい, どうでもいいと思うから……………7人(18%)
カ. きまりを破ったらどうなるか 考えていないから……………4人(10%)
キ. その他……………2人(5%) (格好を付けたがっているから, 本能)



## 【考察】

アンケート結果(1)から、学校生活や社会生活において、相手のことを考えたり、きまりを守ったりすることが大切だと考えている生徒が多いことが分かる。

また、ほとんどの生徒がきまりを破ることはいけないことだと理解しているが、アンケート結果(3)から、ほとんどの生徒が破ったことがあると答えている。アンケート結果(5)からわかるように、家庭や学校といった普段の慣れ親しんだ集団生活の中できまりを破っており、その内容も、親との約束や学校のきまりなどとなっている。ただし、友達とのきまりは、「人間関係を大切にしたい」もしくは、「人間関係を崩したくない」という考えからか、よく守っていると考えられる。

また、アンケート結果(6)から、きまりを破ることを客観的に考えてみると、半数以上の生徒は「いけないことだ」と感じているが、「何とも思わない」「かっこいい」「うらやましい」といった、他人の言動に対して、無関心であったり、あこがれのような感情を抱いたりしていることも分かる。これは、中学3年生という発達段階での、きまりなどに束縛されることへの反発の現れによるものと考えられる。

また、きまりを破ってしまう理由として、アンケート結果(7)からわかるように、多くの生徒が、周りに流されたり、きまりとして意識していなかったり、きまりで束縛されたくないということを出している。このような理由をあげるのは、きまりの意義について深く考えていなかったり、周囲の目を気にして、当たり前な行動を躊躇したりするからではないかと考える。

そこで今回、本主題を通して「きまりの意義とは何か」ということについて、多くの意見を出させ、深く考えさせたい。また、自分の利害と、社会全体を考えたきまりとを比較させ、今までの自分自身の経験を振り返らせたい。その上で、よりよい社会をつくるために大切なことを深く考えさせ、きまりを守り、秩序と規律のある社会をつくらうとする生徒を育てていきたい。

## 7 指導計画（全1時間）

月	資料名	時間	ねらい
6	元さんと二通の手紙	1	きまりを守り、よりよい社会をつくらうとする実践意欲を培う。

## 8 本時の実際

### (1) 本時の目標

資料「元さんと二通の手紙」を読み、秩序と規律のあるよりよい社会をつくるためには、きまりについての意義を正しく理解し、きまりを守ることが大切であるということへの自覚を深める。

### (2) 資料について 「元さんと二通の手紙」（「自分をのばす」廣済堂あかつき中学生の道徳）

#### ア 資料観

本資料「元さんと二通の手紙」は、動物園の職員「元さん」の心情を捉えることで、きまりを守ることと、よりよい社会をつくることを深く考えさせる感動的な資料である。

本資料は、だれもが感心する働きぶりの動物園の職員である元さんと、学校が春休みに入った頃、毎日終了間際に動物園に来ていた幼い姉弟の話である。

ある日、元さんが入園終了時間が過ぎたので入り口を閉めようとしていると、いつもの幼い姉弟が現れた。今にも泣き出さんばかりの姉の手にはしっかりと入場料が握りしめられ、弟の誕生日ということで、「弟にキリンを是非見せてやりたい」と入園をお願いした。

しかし、動物園は保護者同伴でないと入園できないきまりになっている。そんなきまりは当然理解している元さんであったが、同情心から特別に幼い姉弟の入園を許可し、事件が起きる。

それは、動物園の閉園時刻が過ぎたにもかかわらず、幼い姉弟の姿が見あたらず、動物園内職員をあげて二人の子どもの捜索が行われ、1時間ほど経った頃、園内の雑木林の中の小さな池で遊んでいたところを無事発見されたという事件であった。

このような事件から数日後、元さん宛に1通の手紙が届いた。その手紙の内容は、幼い姉弟の母親から、子どもたちの心を察して入園させてくれた温かい元さんの気持ちへの感謝の手紙だった。

ところが、その後上司からもう1通の手紙が渡される。それは、解雇処分の通告書だった。

元さんの幼い姉弟にとった行動は、心情的には十分理解できるものではあるが、そのために多くの人に迷惑をかけてしまったことも事実である。また、池があったり、崖があったりする動物園の環境を考えると、一步間違えれば大惨事になっていたことも考えられるという理由からであった。

本資料は、社会のきまりやルールには、周囲への優しさがあり、守らなければならないものであるということを大切にしている。そこで、導入の段階で、きまりを守ることについて、生徒自身の経験を振り返らせ意識付けをした後、本資料を読ませる。そして、元さんのとった行動について、まずは自分自身でじっくりと考えさせ、自己内対話をさせる。その後、グループ討議や全体討議を通して、多くの人の意見や考えを共有し、広がりや深まりのある考えの中で、更に元さんのとった行動について考えさせる。また、資料を前半と後半で分けて読ませることにより、元さんのとった行動について、自己内対話や討議の活性化を図っていききたい。

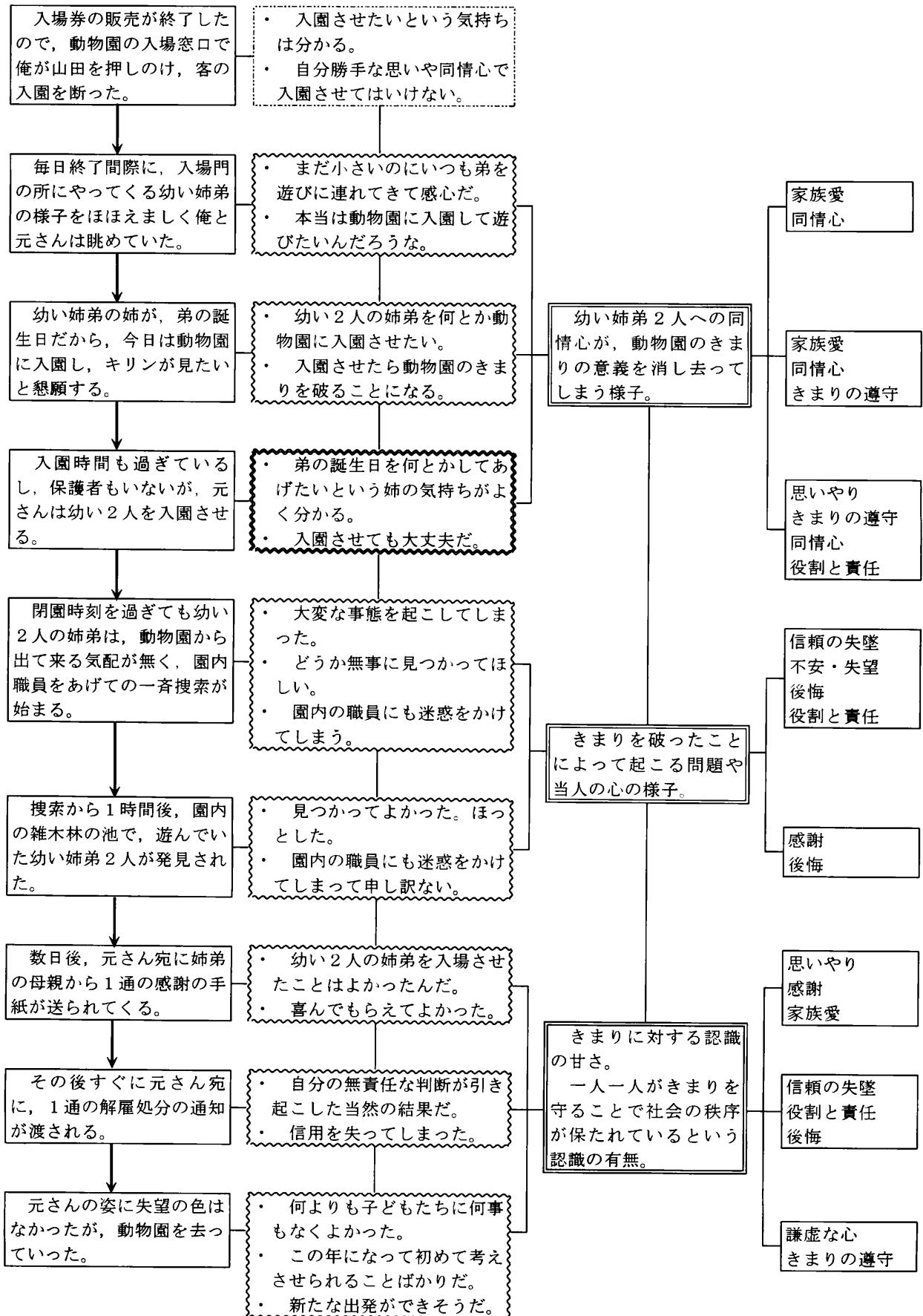
## イ 資料の分析

〈あらすじ〉

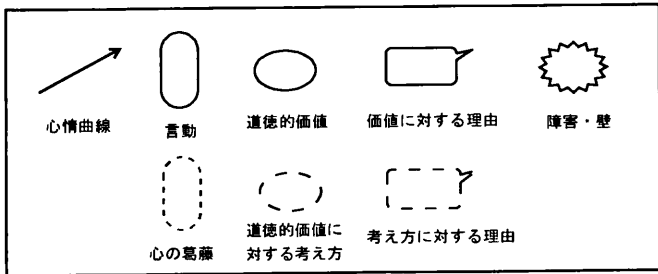
〈心の動き〉

〈問題にしたいこと〉

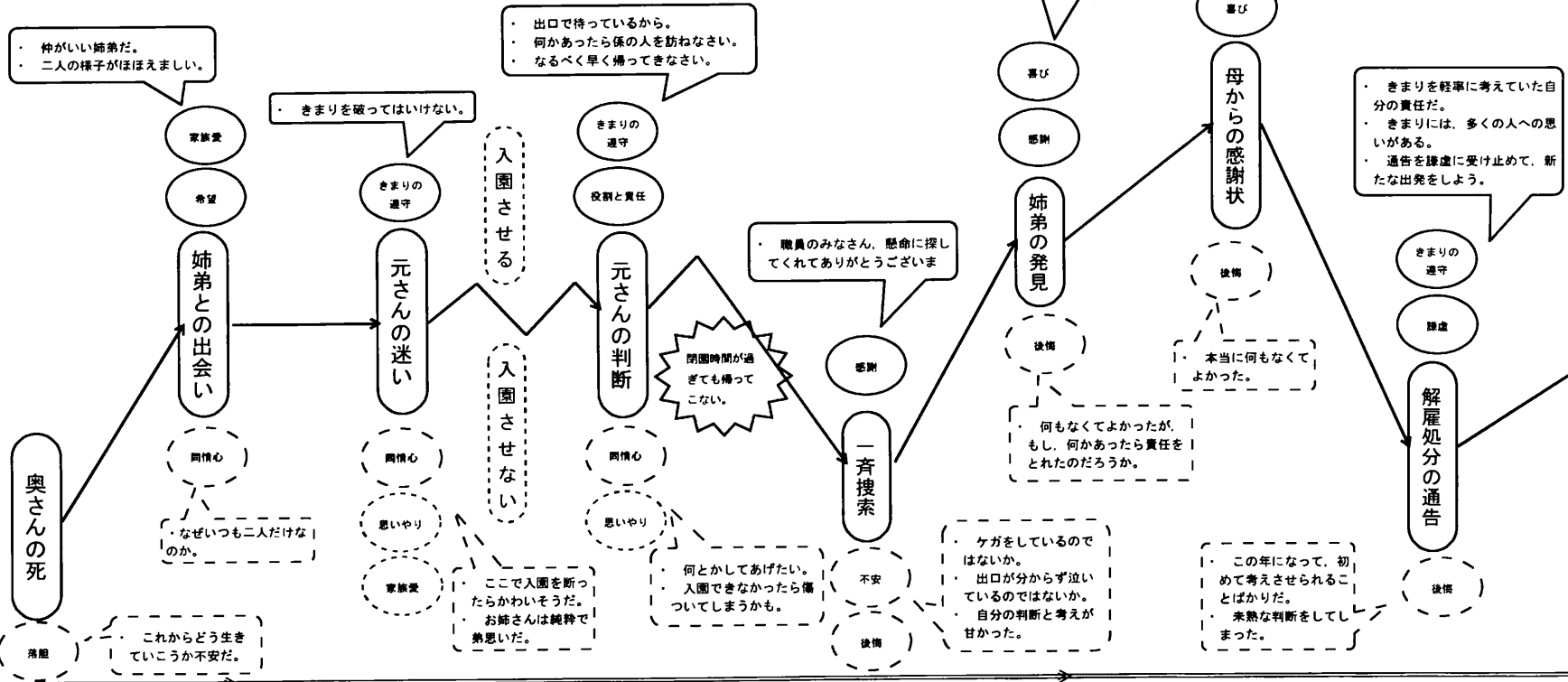
〈道徳的な価値と関連〉



# 価値関連図



元さんの心情



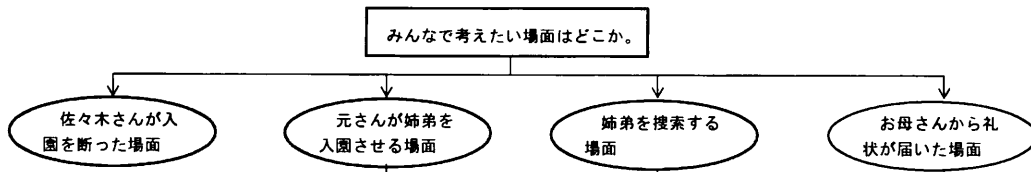
退職後の様子

動物園での様子

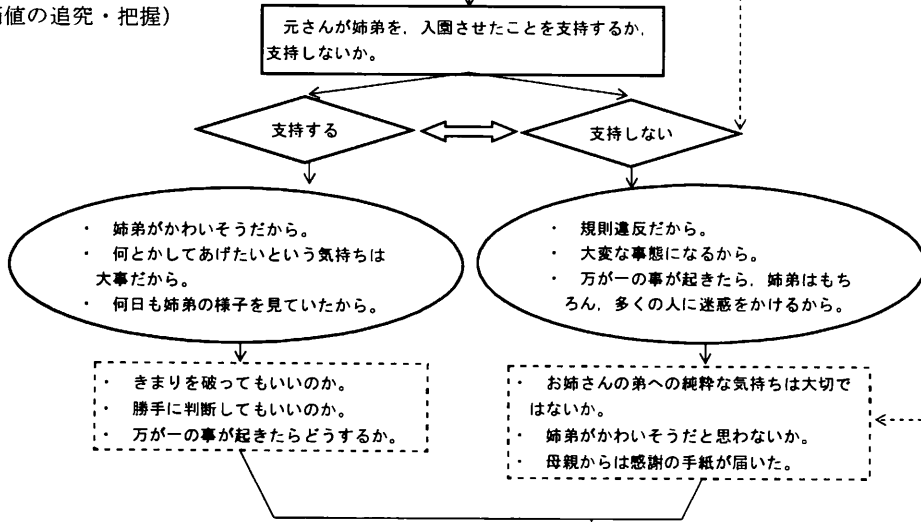
二通の手紙が届いたときの様子

# 〈発問による授業の構造化〉

(焦点化)

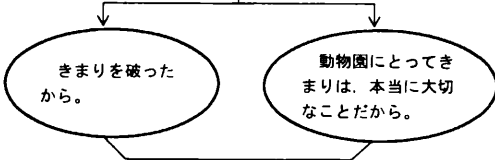


(価値の追究・把握)

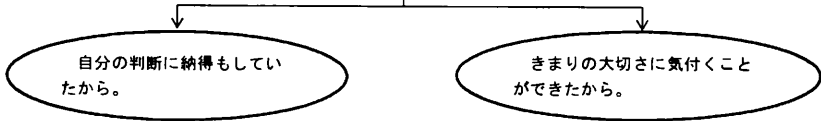


元さんの迷った価値について理解させ、物事を判断するときにはいくつかの価値があることに気付かせる。

動物園は、なぜ、元さんに解雇処分を出したのか。

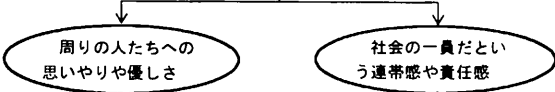


元さんの姿に失望の色がなかったのはなぜか。



入園させる、させない、どちらの判断にも思いやりの気持ちが込められていることに気付かせる。

きまりを破りそうなときに、どんな気持ちがあると守ると思いますか。



今までの自分と、今日の授業を振り返り、これからの自分に大切なことは何か考えてみよう。

—	教師の展開の構想
-----	その他に予想されるつながり
□	発問
□	補助発問
○	生徒の予想反応
◇	判断
○	その他

(自覚化)



# 指導過程

ワークシートに記入しない発問  
  ワークシートに記入させ、じっくり考えさせる発問  
  揺さぶり発問  
  研究の内容

過程	発問・指示	時間	生徒の予想反応	教師のはたらきかけと留意点	研究との関連
導 意 識 入 化	○ 身の回りにある様々なきまりについて考えさせる。 1 写真から、普段どんなことに気を付けていますか。 「周りに誰もいなくて、迷惑がかからなかったり、周りも守っていないければ、きまりは守らなくてもよくないですか。」	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>きまりを守ること。</li> <li>静かにすること。</li> <li>走らないこと。</li> <li>青信号で渡ること。</li> <li>点滅になったら渡らないこと。</li> </ul>	(研究の内容2-(1)ア) ・身の回りには、様々なきまりがあることを確認させるために交通ルールや学校でのきまりの写真を見て、きまりなど答えさせる。	(研究の内容2-(1)ア) 【多様な導入の工夫】 ビデオや写真の活用など多様な教材を用いて生徒の視覚や聴覚等に訴えかけることによって、課題意識を高めさせる。
	○ 資料の前半部分を読ませ、よりよい生き方について考えさせる。 2 資料を読んで、印象に残ったところはどこですか。	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>元さんが姉弟を入園させた場面。</li> <li>姉弟が時間になっても帰ってこなくて、捜索が始まった場面。</li> <li>母親からの感謝状が届いた場面。</li> </ul>	・資料の状況を共通して具体的にイメージさせるために、登場人物や動物園の様子や状況を全員で確認させる。	(研究の内容2-(2)ア) ・自己内対話を活性化させ、自分自身の気持ちの揺れに気付かせるために、心情円グラフを使い、考えていることを表出させる。 ・自己内対話を活性化させるために、ワークシートに自分の考えを理由まで具体的に書かせ、自分自身を客観的に見つめさせる。 ・自分自身の考えをしっかりとまとめるために、自分の考えを、意思表示カードで示させる。
展 望 の 追 求	3 元さんが姉弟を、入園させたことを支持しますか、支持しませんか。 ○ ワークシートに自分の考えを記入させる。 ○ グループで話し合いをさせる。 ○ 全体で話し合いをさせる。 「母親はなぜ、感謝の手紙を元さんに送ったのですか。」 「動物園のきまりは、破ってもいいんですか。」	15	【支持する】 ・入園できなかったら、姉弟がかわいそうだから。 ・困っている人を何とかしてあげたいという思いは大切だから。 ・入園させることで、弟にとって最高のプレゼントになるから。 ・何日も姉弟の様子を見ていたから。 【支持しない】 ・規則違反だから。 ・大変な事態になるから。 ・安全面を考えると、姉弟2人だけでは危険だから。 ・実際姉弟は、閉園時間になっても帰ってこなくて、多くの人に迷惑をかけることになるから。	(研究の内容2-(2)イ) ・多様な考えを共有させるために自分の考えをもとに、グループ討議を行わせる。 ・同じ考えの人同士で固まらないように、違う考えの人を派遣させるなど、グループ編成に気を付ける。 ・更に考えを深めさせるために全体討議で、価値尊厳を行わせる。	(研究の内容2-(2)イ) 【討議を活性化させるための工夫】 異なる意見や対立した意見を尊重することによって、同質のものだけでは到達し得ない議論の深まりと広がりをもたせようとする。
	○ 資料の後半部分を読ませ、よりよい生き方について考えさせる。 4 資料を読んで、印象に残ったところはどこですか。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>解雇通告を受けた場面。</li> <li>元さんが動物園をやめていく場面。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちとじっくり向き合わせ、深く考えさせるために、グループから個人に席を戻させる。</li> <li>資料の状況を共通して具体的にイメージさせるために、登場人物の様子を全員で確認させる。</li> </ul>	・価値を深く考えさせるために、「支持する」「支持しない」両方の考えの価値を理解させる。 ・物事を判断するときには、いくつかの価値があることを理解させるために、元さんの迷った価値について理解させる。
開 発 の 追 求	5 動物園は、なぜ、元さんに解雇処分を出したのでしょうか。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>きまりを破ったから。</li> <li>動物園にとってきまりは、本当に大切なことだから。</li> </ul>	・きまりには、多くの人への思いやりなどの意義があることに気付かせるために、動物園側の考えについて考えさせる。 ・入園させる判断も、入園させない判断も、どちらにも思いやりの気持ちが込められていることに気付かせる。	
	6 元さんの姿に失望の色がなかったのはなぜでしょうか。 ○ ワークシートに自分の考えを記入させる。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の判断に納得していたから。</li> <li>きまりの中にある思いやりを再確認することができ、きまりの大切さに改めて気付くことができたから。</li> </ul>	・きまりを守ることの大切さを、更に深く自覚させるために、身の回りでのきまりについても振り返らせる。	
自 覚 化	7 きまりを破りそうなどときにどのような気持ちがあると守ると思いますか。 ○ ワークシートに自分の考えを記入させる。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>周囲の人たちへの思いやり。</li> <li>社会の一員だとう連帯感や責任感。</li> </ul>		
	8 今までの自分と、今日の授業を振り返り、これからの自分に大切なことは何か考えてみましょう。 ○ ワークシートに自分の考えを記入させる。	5		(研究の内容2-(3)) ・自己の変容に気付かせ、こうなりたいという自分を想像し、自覚させるために、ワークシートに「初めは～だったが、今は～である。」という書き方で記述させる。 ・自覚化を深めさせるために、近くの人同士で感想を回し、考えを共有させる。	(研究の内容2-(3)) 【自己の変容を実感させる工夫】 「初めは～だったが、今は～である。」というように、学習前と後の考え方などの変化や学習を通して気付いたことや、理解できたこと、今後どう生かしていきたいかという実践力に向けての意欲等をワークシートに記述させる。
終 意 欲 化	○ 教師の説話	3		・きまりを守る大切さを理解させ、実践化への意欲を高めさせる。	